

LINTEC

WAVE

株主通信誌

DECEMBER 2024

96

特集【半導体レポート】

リンテックの成長をけん引する
半導体関連製品

第131期(2025年3月期)

中間期決算情報

証券コード: 7966

LINTEC WAVE 96 DECEMBER 2024



アンテロープ・キャニオン

米国・アリゾナ州バイジ近郊にある溪谷。水と風が長い年月を掛けて砂岩を削ることで、つくられた。岩壁の隙間から差し込む神秘的な太陽光が特徴。

目次

2 連結業績推移

3 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長
社長執行役員

服部 真

4 特集【半導体レポート】

リンテックの成長をけん引する
半導体関連製品

6 トピックス

7 アンケート結果のご報告

8 LINTEC ESSAY

絵本で、くつつく 岸田 雪子

10 決算情報

12 セグメント情報

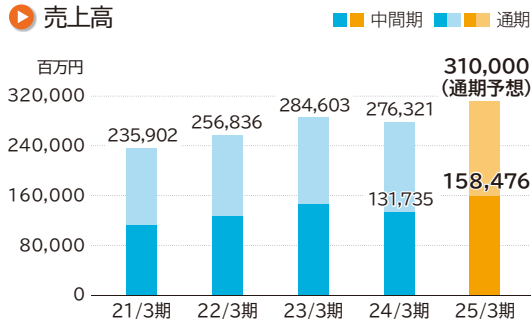
15 株式情報

(免責事項)

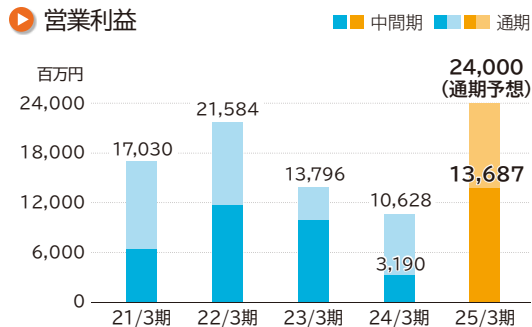
業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

連結業績推移

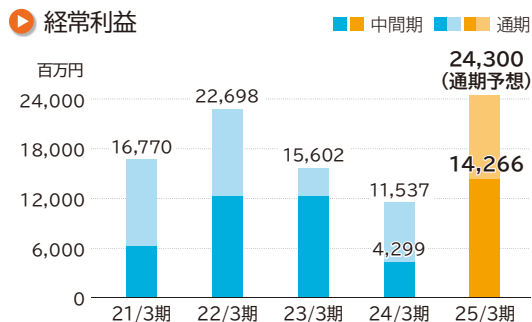
売上高



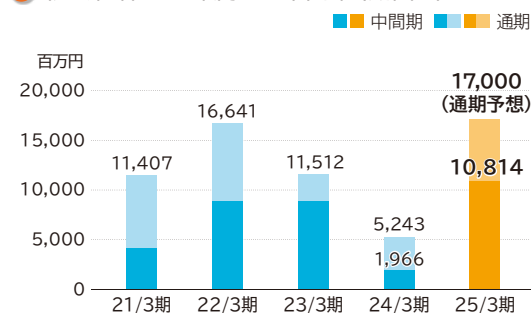
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益





代表取締役社長
社長執行役員
はっとり まこと
服部 真

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社グループの2025年3月期中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は半導体・電子部品関連製品が好調な需要に支えられ大幅に回復したことに加え、米国でシール・ラベル用粘着製品の販売数量が増加したことなどもあり総じて好調に推移しました。また利益面では、原燃料価格の高止まりがあったものの、上記以外の製品も販売数量が増加した効果などにより、大幅な増益となりました。

第3四半期以降も、半導体・電子部品関連製品などの受注が当初想定を上回る

▶ 2025年3月期中間連結会計期間(前年同期比)

売上高
158,476百万円 (20.3%増)

営業利益
13,687百万円 (329.1%増)

経常利益
14,266百万円 (231.8%増)

親会社株主に帰属する中間純利益
10,814百万円 (449.9%増)

水準で続くことを見込んでおり、2025年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正しました。なお、当中間期の連結業績および通期連結業績予想の修正を踏まえ、中間配当金を当初予定の1株当たり44円から6円増額の50円に、年間配当金予想も88円から12円増額の100円に修正するとともに、11月29日に自己株式420万株の消却も行いました。今後も経営上の最重要課題の一つに位置づける株主の皆様への利益還元を充実してまいります。株主・投資家の皆様には引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

2025年3月期通期連結業績予想				2024年3月期
		当初予想	修正予想(増減率)	実績
売上高		2,900億円 ▶	3,100億円 (6.9%増)	2,763億21百万円
営業利益		180億円 ▶	240億円 (33.3%増)	106億28百万円
経常利益		180億円 ▶	243億円 (35.0%増)	115億37百万円
親会社株主に帰属する当期純利益		130億円 ▶	170億円 (30.8%増)	52億43百万円

リンテックの成長をけん引する 半導体関連製品

半導体チップの製造工程で使用される各種粘着テープやそれらを貼付・剥離するための装置が、リンテックの業績をけん引しています。今号では、当社の成長の原動力である半導体関連製品やさらなる成長へ向けた施策などをご紹介します。

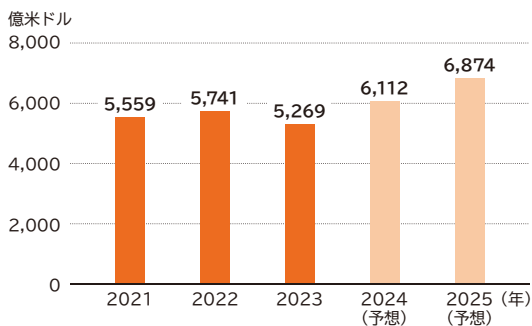
拡大する半導体需要を確実に取り込む

当社は11月に2025年3月期通期連結業績予想を上方修正しました。その最大の理由として、半導体関連粘着テープ・装置の販売数量が想定以上に推移したことが挙げられます。2022年秋口から始まった半導体市場での在庫調整が前期の途中から解消し始め、半導体関連粘着テープの当中間期の売上高は前年同期比37.8%増の195億円となりました。市況の回復に伴い、出荷数量は確実に増加しています。

こうした半導体市場の回復の背景には、生成AI(人工知能)の急速な需要拡大が関係していると見られています。日常生活からビジネスシーンまで幅広い用途で生成AIが普及し始め、データセンターのほか、パソコンやスマートフォン向けにも需要が高まり、2025年の世界の半導体市場も拡大することが予想されています。この生成

AIに必要な半導体が、半導体メモリーの一つであるDRAMを積層してつくるHBM(広帯域メモリー)です。当社はDRAMを積層する工程で使用されるテープを貼付する装置を手がけており、半導体メーカーで採用されています。このHBM向け装置を加えた当社の半導体関連装置ビジネスも、各種半導体関連粘着テープとともに当社の収益に貢献しています。

世界の半導体市場予測



出所: WSTS(世界半導体市場統計) 2024年春季予測

半導体関連市場の拡大を見据えて積極果敢に施策を展開

■先端半導体後工程の開発体制を強化

半導体製造工程は「前工程」と「後工程」に二分されますが、チップの微細化が物理的な限界に近づく中、複数のチップを積み重ねる三次元実装など後工程に関わる技術革新が、半導体の性能向上の鍵を握ると考えられています。当社は先端半導体製造の後工程に関わる新製品や独自プロセスの開発強化を目的として、2023年9月に福岡県産業・科学技術振興財団が運営する三次元半導体研究センターに入居し、同センター内に研究開発を担う新組織として「実装技術開発室」を開設しました。また、同センターの設備増強を支援するため、「企業版ふるさと納税制度」を活用し、福岡県に1億円の寄付を実施。「シリコンアイランド」として存在感を高める九州地区の半導体産業の発展にも貢献していきます。



当社が入居している三次元半導体研究センター



福岡県からの感謝状贈呈式の様子(写真左から服部誠太郎県知事、当社社長の服部真)

■EUV露光機用ペリクルを起点に新規領域を開拓

既存製品の競争力強化に加えて、新規領域の開拓にも注力しています。当社は先端半導体の微細回路形成に欠かせないEUV露光機用ペリクル(防塵材料)の第一次量産体制の構築を図るべく、国立研究開発法人産業技術総合研究所と共同研究を実施してきました。ペリクルは当社が得意とする半導体製造の後工程で使われる粘着テープとは異なり、前工程で使われる部材です。2024年7月には当社グループが独自開発したCNT(カーボンナノチューブ)製ペリクルの量産機の立ち上げに成功。早期の社会実装に向けた取り組みを加速していきます。



CNT製ペリクル膜

フッ素樹脂不使用の耐油紙に脚光

近年、有機フッ素化合物（PFAS）の使用を規制する動きが欧米を中心に強まり、食品包装においてはフライドポテトなどの包み紙として利用される耐油紙でフッ素樹脂を使用しないタイプの需要が高まっています。独自の抄紙技術を生かして耐油紙を製造・販売している当社では、環境意識の高まりを踏まえてフッ素樹脂不使用の耐油紙を投入しており、コンビニエンスストアやファストフード店で採用が増えています。当社の強みである「ニーズを的確に捉える力」と「技術開発力」を掛け合わせ、今後も幅広い製品を提供していきます。



耐油紙の使用イメージ

ログミーファイナンスの利用を開始

今年度から、ログミー（株）が提供する決算説明会の内容を全文書き起こして公開するサービス「ログミーファイナンス」を導入しました。同社の提携先企業のサービスを通じて、機関投資家やアナリスト、個人投資家などのより幅広い方に情報を配信し、当社への理解促進につなげていくことを目的としています。当社では、引き続き株主・投資家の皆様との積極的な対話やIR（投資家向け広報）活動の推進に努めてまいります。



2025年3月期第2四半期
決算説明会の書き起こし
記事はこちらから御覧
いただけます。



<https://finance.logmi.jp/articles/380627>

「統合報告書2024」を発行

2024年版の統合報告書を発行しました。中期経営計画「LSV 2030-Stage 2」の方針や施策、新たに見直したマテリアリティとKPIを紹介するとともに、経営層のメッセージやESG情報なども充実させ、当社グループの企業価値向上と持続的成長への方策を説明していますので、ぜひ御覧ください。



当社ホームページの
株主・投資家情報サイ
トから御覧いただけ
ます。



www.lintec.co.jp/ir/library/annual.html

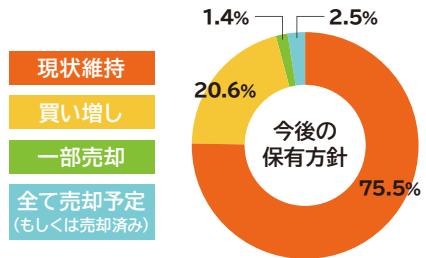
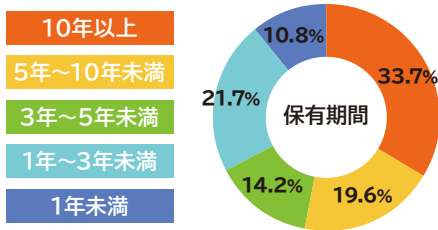
アンケート結果のご報告

読者アンケートへのご協力ありがとうございました

「LINTEC WAVE」第95号(2024年6月発行)で皆様にご協力をお願いしたアンケートでは、合計1,492件のご回答を頂きました。アンケートの集計結果やお寄せいただいた貴重なご意見・ご要望を基に、今後も一層の経営強化やIR活動の充実に努めてまいります。

回答者の保有期間と今後の保有方針について

半数以上の方が保有期間5年以上の長期保有者であり、95%以上の方が「現状のまま継続保有」あるいは「買い増しして継続保有」をお考えです。



多く頂戴したご意見・ご要望の中から一部をご紹介します

安定的にPBR1倍以上となるよう
株価対策を期待している

半導体関連製品の将来性に
強く期待している

より充実した情報発信に
努めてもらいたい

将来の発展に寄与する
新技術や新製品をWAVE誌面上で
紹介してほしい

社名認知向上に向けて
ネット広告の活用も進めてほしい

《ご協力ありがとうございました》

アンケートにご回答いただいた皆様には、当社高級印刷用紙「ニューージュ CoC」を使用した2025年版当社オリジナルカレンダーをお送りさせていただきました。今回は、世界各地の街や郊外など、人々の穏やかな暮らしがうかがえる風景を、白い輪郭線が印象的な独特の水彩画で描いた木佐貫 悦深氏の作品集です。



絵本で、くつつく

岸田 雪子

絵本が好きです。どんな絵本も表紙を見るだけで心の中で、にんまり。『ぐりとぐら』『だるまちゃん』など歴史的な作品や『ピー、うみへいく』など昭和時代のソフトカバーの絵本など、息子の絵本、私の絵本が我が家の本棚にはぎっしりと並びます。

絵本の魅力の一つは、言葉に「余白」があること。研ぎ澄まされた短い言葉が読者の想像を育てます。もう一つは「読んでもらう」ことの魅力。自分で読むのもいいですが、信頼できる人の声で、眼差しを注がれながら、時には膝の上で、読み手の体温を感じながら「読んでもらう」ことの幸福感は何ものにも変えがたい記憶となります。

そんな絵本の力を借りたいくて、ことしも東北の被災地の保育園に絵本を携えお邪魔しました。初めて伺ったのが2012年。当時勤めていた日本テレビの有志で声をかけあい開いた「読み聞かせ会」でした。津波で流されてしまった保育園の跡地に建てられたプレハブに集う子どもたちの中には、自身も津波に押し流され、家族を失い、眠れない夜を重ねた子も少なくありませんでした。



少しでも笑顔の時間を、との想いからのご縁が続き、ことしも宮城県東松島市の3つの保育園に訪問させて頂きました。大型絵本の「おしくら・まんじゅう」を机の上に開き、こどもたちに声をかけながら読み進めれば、子どもたちも「そーれ♪おしくら〜」と一緒に大笑いしながら声を上げてくれます。「読んでもらう」ことで、こどもたちは、かがくいひろしさんという作者と対話しながら、読み手である私とも対話しています。「聴かせる」だけでなく、心を通わせる「対話」へとつながることをいつも大切にしています。

アタッチメント、という言葉が、最近随分と注目されるようになりましたが、それに通じる意義が、絵本にはあるように思います。アタッチメントは、心理学の言葉で“不安を和らげて安心したいという本能的な欲求”を指します。それを満たすのが「信頼できる人とのつながり」です。傷つきや不安があってもアタッチメントを通して人は回復し、新たな世界に踏み出すことができる。去年、政府がこども政策の基本方針を定めた「こども大綱」策定に、私も委員として参加しましたが、「こども大綱」にもアタ



ッチメントの重要性は明記されています。相手は、親でなくても良いのです。特定の信頼できる誰かとの安心できるつながりは、人の育ちに欠かせないものであると考えられています。アタッチメントは「くつつく」という意を含みますが、物理的にも「くつつき」ながら読んでもらうことも多い絵本は、アタッチメントのきっかけにもなりうるかもしれません。あたたかなつながりが、いつも子どもたちの身近にあってほしいと願います。

ことし読み聞かせした絵本には『Wピース』もありました。私も出演させて頂いている「中居正広の土曜日な会」から生まれた新しい絵本で、作者は中居正広さん、劇団ひとりさん、古市憲寿さんの御三方。中居さん作詞・作曲・歌唱の新曲『Wピース』もついた作品ですので、こどもたちと一緒に、“歌って踊る”読み聞かせ会となりました。絵本の可能性は無限大です。



岸田 雪子 (きしだ ゆきこ)

ジャーナリスト。東海大学総合社会科学研究所客員教授。元日本テレビ報道局解説委員。こども家庭審議会 基本政策部会委員。著書「いじめで死なせない」(新潮社)、「スウェーデンに学ぶ『幸せな子育て』子どもの考える力を伸ばす聴き方・伝え方」(三笠書房)。現在はテレビ朝日「中居正広の土曜日な会」、フジテレビ「Mr.サンデー」ほかに出演中。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)	当中間 連結会計期間	前連結 会計年度
流動資産	194,435	187,977
固定資産	152,517	145,664
① 資産合計	346,953	333,642
流動負債	70,144	75,918
固定負債	25,104	24,739
② 負債合計	95,249	100,657
③ 純資産合計	251,703	232,984
負債純資産合計	346,953	333,642

中間連結損益計算書及び 中間連結包括利益計算書(要約)

(単位：百万円)	当中間 連結会計期間	前中間 連結会計期間
④ 売上高	158,476	131,735
売上総利益	41,169	27,821
販売費及び 一般管理費	27,482	24,631
⑤ 営業利益	13,687	3,190
経常利益	14,266	4,299
税金等調整前 中間純利益	14,550	4,328
⑥ 親会社株主に帰属する 中間純利益	10,814	1,966
中間包括利益	21,654	10,280

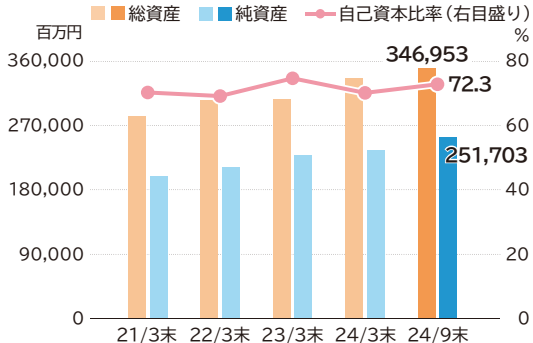
■ ポイント！

- ① 資産合計 「現金及び預金」や「流動資産その他」の減少などがありましたが、「棚卸資産」や「有形固定資産」の増加などにより、総資産は133億10百万円増加しました。
- ② 負債合計 「支払手形及び買掛金」や「流動負債その他」の減少などにより、負債は54億8百万円減少しました。
- ③ 純資産合計 円安の進行による「為替換算調整勘定」の増加などにより、純資産は187億19百万円増加しました。
- ④ 売上高 半導体・電子部品関連製品が好調な需要に支えられ大幅に回復したことに加え、米国においてシール・ラベル用粘着製品の販売数量が増加したことなどにより、売上高は267億40百万円増加しました。
- ⑤ 営業利益 原燃料価格の高止まり影響があったものの、半導体・電子部品関連製品や他の製品についても販売数量が増加し、生産設備の稼働率が大きく改善したことなどにより、営業利益は104億97百万円増加しました。
- ⑥ 親会社株主に帰属する
中間純利益 営業利益が増加したことなどにより、親会社株主に帰属する中間純利益は88億47百万円増加しました。

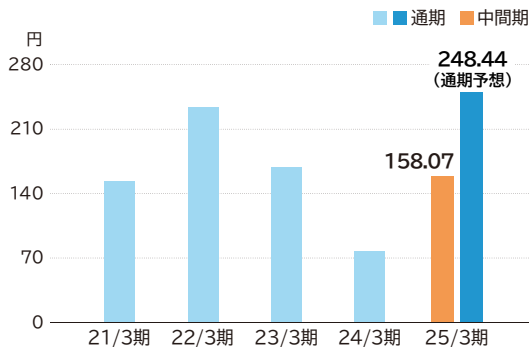
中間連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)	当中間 連結会計期間	前中間 連結会計期間
営業活動による キャッシュ・フロー	11,932	16,957
投資活動による キャッシュ・フロー	△11,759	△14,159
財務活動による キャッシュ・フロー	△5,564	2,997
現金及び現金同等物の 中間期末残高	49,178	42,141

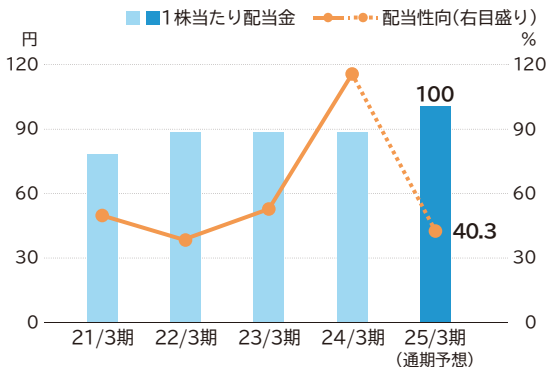
総資産・純資産・自己資本比率



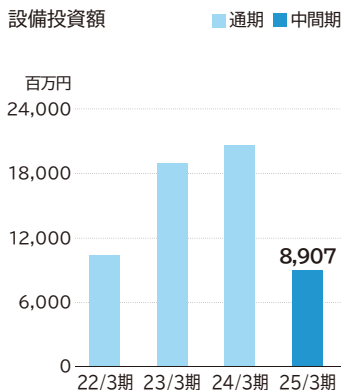
1株当たり中間(当期)純利益



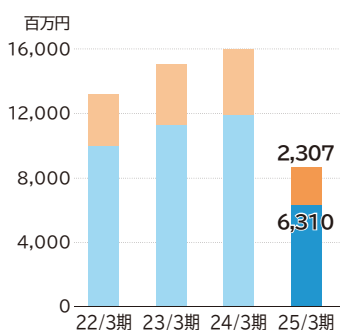
1株当たり配当金・配当性向



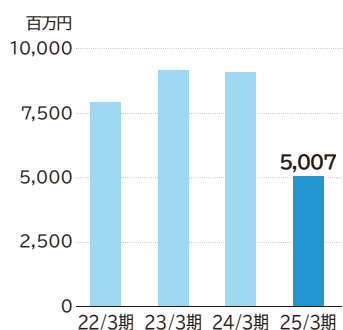
設備投資額



減価償却費 のれん償却額



研究開発費

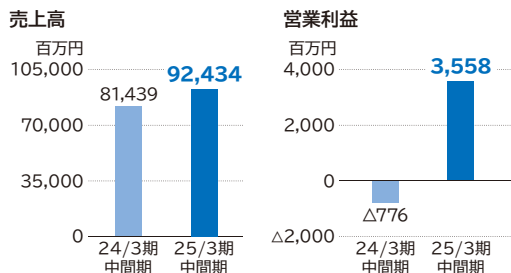


セグメント情報 2025年3月期中間連結会計期間

印刷材・産業工材関連 (前年同期比)

売上高 **924億34**百万円 (13.5%増)

営業利益 **35億58**百万円 (－)



印刷・情報材事業部門 (前年同期比)

売上高 **735億41**百万円 (14.8%増)

主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム



産業工材事業部門 (前年同期比)

売上高 **188億93**百万円 (8.8%増)

主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 屋外看板・広告用フィルム
- 内装用化粧フィルム



事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

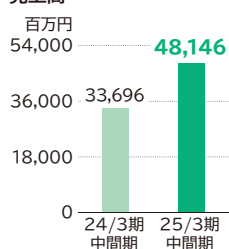
- 印刷・情報材事業部門はシール・ラベル用粘着製品が、国内では物流・通販向けが堅調に推移したものの、物価高騰の影響により食品関連を中心に需要が減少したほか、アイキャッチラベルや飲料キャンペーン用など総じて低調に推移しました。海外では米国で買収効果により販売数量が大幅に増加し、中国、アセアン地域でも堅調に推移しました。
- 産業工材事業部門は国内では自動車用ウィンドーフィルムが自動車生産台数減少の影響を受けて低調に推移しました。海外では米国で建物用ウィンドーフィルムが増加したほか、インドで自動車用粘着製品が増加しました。
- セグメント営業利益は米国での販売数量の大幅な増加もあり、前年同期に比べ増加しました。

電子・光学関連 (前年同期比)

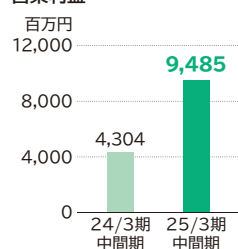
売上高 **481億46**百万円 (42.9%増)

営業利益 **94億85**百万円 (120.3%増)

売上高



営業利益

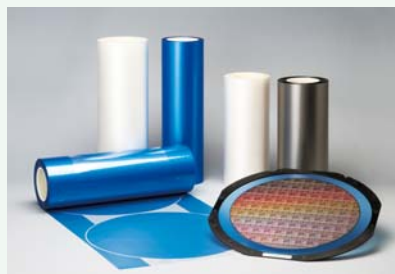


アドバンストマテリアルズ事業部門 (前年同期比)

売上高 **416億55**百万円 (55.9%増)

主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ



オプティカル材事業部門 (前年同期比)

売上高 **64億91**百万円 (6.9%減)

主要製品

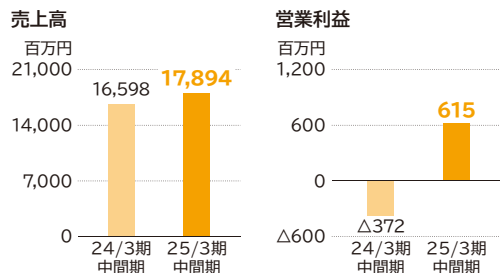
- 光学ディスプレイ関連粘着製品



事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- アドバンストマテリアルズ事業部門は半導体関連粘着テープがスマートフォン用などの需要増加により好調に推移しました。また、半導体関連装置についてもHBM製造用で大幅に増加しました。積層セラミックコンデンサ関連テープはスマートフォンやデータセンター向けなどの需要増加により大きく伸長しました。
- オプティカル材事業部門は光学ディスプレイ関連粘着製品が大型テレビ用やスマートフォン向けで受注が減少しました。
- セグメント営業利益は半導体・電子部品関連製品の販売数量が増加したことにより、前年同期に比べ増加しました。

洋紙・加工材関連 (前年同期比)

売上高 **178億94**百万円 (7.8%増)営業利益 **6億15**百万円 (－)

洋紙事業部門 (前年同期比)

売上高 **75億84**百万円 (3.9%減)

主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 建材用紙



加工材事業部門 (前年同期比)

売上高 **103億10**百万円 (18.5%増)

主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙



事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- 洋紙事業部門は耐油耐水紙が前年同期並みだったものの、主力のカラー封筒用紙や色画用紙、建材用紙が需要減少により低調に推移しました。
- 加工材事業部門は電子材料用剥離紙や光学関連製品用剥離フィルムがスマートフォン用などの需要増加により好調に推移したほか、合成皮革用工程紙や炭素繊維複合材料用工程紙も大幅に増加しました。
- セグメント営業利益は加工材事業部門の販売数量増加などにより、前年同期に比べ増加しました。

※ セグメント別の営業利益はセグメント間取引消去前の数値に基づいています。

株式情報 (2024年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 (ただし自己株式を除く)	68,427,731株
単元株式数	100株
株主数	8,229人



IRメール配信サービスのお知らせ

当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、当社IR情報サイトよりご登録をお願いいたします。



スマートフォンなどでこの二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

www.lintec.co.jp/ir/ir_mail

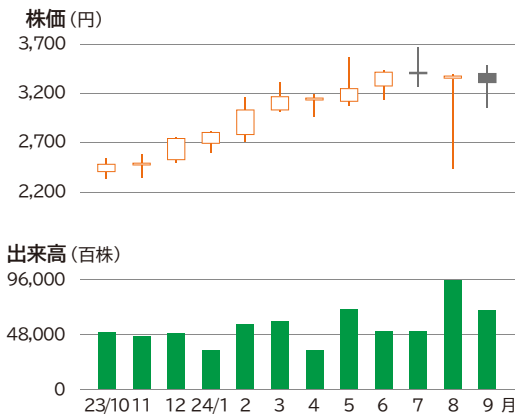
大株主の状況 (上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	20,553	30.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,802	9.94
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,623	8.21
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	2,800	4.09
庄司 たみ江	1,796	2.62
リンテック従業員持株会	1,205	1.76
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	1,061	1.55
塩飽 恵以子	1,043	1.52
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	820	1.19
塩飽 一誉子	803	1.17

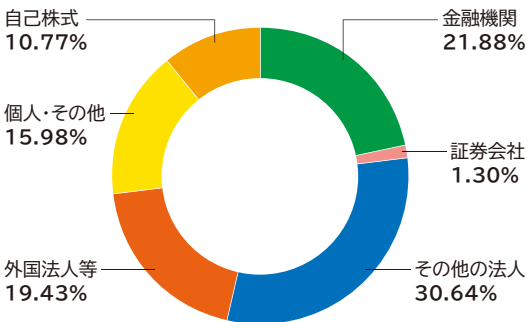
注1. 当社は自己株式8,261,009株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

株価および出来高の推移 (2023年10月~2024年9月)



所有者別分布比率



会社概要 (2024年9月30日現在)

社名	リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)
本社設立	東京都板橋区本町23-23 1934年10月15日
資本金	233億5,598万1,761円
上場	東京証券取引所プライム市場
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結: 5,476人 単体: 2,618人 (2024年3月31日現在)
事業所	営業拠点: 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点: 吾妻(群馬県)、熊谷・伊奈(埼玉県)、千葉(千葉県)、 龍野・新宮(兵庫県)、小松島(徳島県)、三島・土居(愛媛県) 研究拠点: 蕨・さいたま(埼玉県)
連結子会社	国内: 3社 海外: 38社 (2024年3月31日現在)

株主メモ

定時株主総会	6月
配当基準日	期末: 3月31日 中間: 9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・フリーダイヤル	☎ 0120-232-711
・ホームページアドレス	www.tr.mufg.jp/daikou
住所変更、単元未満株式の 買取・買増等のお申し出先 について	株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
株主総会資料の電子提供制度開始に 伴う書面交付請求に関するご案内	株主総会資料の書面での交付を希望される場合は、株主様の口座のある証券会社または株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
法定公告掲載ホームページアドレス	www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html



リンテック株式会社 *Linking your dreams*

● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23
URL www.lintec.co.jp

発行 広報・IR室 2024年12月
TEL. (03) 5248-7741
FAX. (03) 5248-7754

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジー(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウェーブ(波)を組み合わせでデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。

UD
FONT ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザ
インの文字を採用しています。